

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 ハピネス国際ほみ放課後等児童デイサービス(児童発達支援)

公表日 令和7年2月5日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10		適切なスペースが確保できるように、一階と二階に分けてスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		利用者の特性にあわせ、職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		消毒・掃除・換気等を行っています。	必要に応じて、更に、こまめな消毒・布製品の玩具を日干しすると良い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		パニック状態・静かに過ごしたい場合には、個別に部屋や場所を提供しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		定期的にミーティングを行い、職員が参加しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		送迎時を活用しながら、保護者とのコミュニケーションを図り業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			送迎時に限らず日頃から、保護者との意見交換の場を設けると良いと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	10			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		可能な限り、都道府県・市町村が開催している研修会に参加し、その都度、事業所内で研修を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		その都度、保護者や利用者の意向を確認し公平な立場に立って計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		全職員に子どもの状況等を説明し、共通の『子どもの最善の利益』を追求しています。	職員も子どもの『特性』を学ぶ機会を設けると良いと思います。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		社員間でプログラムを考え、随時、ミーティングを行い活動プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		活動プログラムが固定化しないように、社員同士で様々な意見交換を行っています。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10	個々人の気持ち・特性に配慮しながら、計画書を作成し支援を行っています。	必要に応じて、それに代わる活動を行えるようにすると良い。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10	当日に難しい場合には、後日改めてその日行われた支援内容の問題点を共有しています。	気づいた点で重要だと思われる事項は、記録をし次回の改善につなげる。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10	リズム・ヒヤリハット・当事業所独自の記録をつけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	定期的に行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	必要に応じて、主治医・発達センター・子ども園等、関連機関と連携を図っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	小学校・特別支援学校の情報だけでなく、保護者とも支援内容や情報共有を行い、相互理解に努めています。	子ども園への送迎時にも情報共有を行うと良いと思います。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	10	必要に応じて、各専門機関に相談を行っています。可能な限り、研修にも参加しています。	
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10		
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	10	地域の公園・グラウンド活用しています。	地域の行事等の社会資源を活用すると良い。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	送迎時・定期的な当事業所の行事を活用し、情報共有を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	適宜、説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	日頃から保護者と職員が交流を深め、子どもや保護者、又、家庭の意向とニーズを確認しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	随時、行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10		クリスマス会・ハピネスカフェ等を活用し、保護者間同士でも交流が図れるような場を設けています。	更に、多くの保護者が参加しやすいように早めに行事予定を伝えることが大切だと思います。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		ハピネス通信を作成し、配布しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		子どもの特性に応じて、その都度、配慮を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10			
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		定期的にマニュアル確認と訓練を行っています。
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	10		保護者との日頃からのコミュニケーションを活用し、その都度、確認を行っています。	
48		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10			
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
50		子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ミーティングを行い、再発防止に努めています。	特に重要な場合は、別途記録を作成すると良いと思います。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		事例を活用し、定期的に行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10				